

感染症の予防のための
情報提供について【3事例】

| 病名 | 腸管出血性大腸菌感染症 | | | | |
|--|---|-------|-------|-------|-------|
| 【概要】 | 本日、員弁郡（事例1）、いなべ市（事例2）、津市（事例3）の各医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症の発生の連絡がありました。内容は下記のとおりです。 | | | | |
| 【患者発生の経過】 | <p>（1）事例1（45歳、男性、会社員、員弁郡在住）</p> <p>11月4日 腹痛、下痢（10回/日）、発熱（38.9℃）の症状がみられた。</p> <p>11月7日 腹痛、下痢（5回～6回/日）、血便の症状がみられたので、員弁郡内の診療所を受診。</p> <p>11月10日 11月7日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（O157）感染症と診断された。</p> <p>11月11日現在、患者に症状はありません。</p> <p>（2）事例2（9歳、男性、小学生、いなべ市在住）</p> <p>11月6日 下痢（3回/日）、発熱（37℃）の症状がみられた。</p> <p>11月8日 腹痛、下痢、血便（頻回）の症状がみられたので、桑名市内の病院を受診後、入院となる。</p> <p>11月10日 11月8日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（型不明）感染症と診断された。</p> <p>11月11日現在、患者に症状はありません。</p> <p>（3）事例3（26歳、女性、会社員、津市在住）</p> <p>10月27日 下痢（1～2回/日）の症状がみられた</p> <p>11月2日 下痢（4～5回/日）、発熱（38.8℃）の症状がみられたので、津市内の病院を受診。</p> <p>11月10日 11月2日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（O157）感染症と診断された。</p> <p>11月11日現在、患者に症状はありません。</p> <p>※3事例についての関連性については、現在調査中です。</p> | | | | |
| 【防疫措置】 | 家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施（桑名、津保健所） | | | | |
| 【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む） | | | | | |
| | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
| 患者 | 50 | 44 | 39 | 27 | 28 |
| 保菌者 | 24 | 18 | 19 | 10 | 13 |
| 計（感染者） | 74 | 62 | 58 | 37 | 41 |
| ※平成28年1月1日～平成28年11月11日現在まで本件含む | | | | | |
| 平成28年内 患者：O157（20人）：O26（6人）：O121（1人）：型不明（1人） | | | | | |
| 保菌者：O157（6人）：O26（6人）：O146（1人） | | | | | |
| 【自分でできる対策】 | | | | | |
| 1 予防の3原則 | | | | | |
| ① 加熱（菌を殺す） | この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。 | | | | |
| ② 迅速・冷却（菌を増やさない） | 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。 | | | | |
| ③ 清潔（菌をつけない） | 手指や調理器具は十分に洗いましょう。 | | | | |
| 2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。 | | | | | |
| 3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。 | | | | | |